

警戒レベルをもっと知ろう

警戒レベルについて

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)		
5	災害発生 又は切迫	命の危険直ちに安全確保! <ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ただし、警戒レベル5は、市町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。 	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)	
<警戒レベル4までに必ず避難!>							
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 <ul style="list-style-type: none"> 警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。 	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 <ul style="list-style-type: none"> 「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。 	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報	
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	2相当	氾濫注意情報	—	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	—	—	

※市町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていない場合でも、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

警戒レベル5緊急安全確保 はすでに災害が発生・切迫している状況です。
また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3高齢者等避難 や
警戒レベル4避難指示 で、
住民の皆さんで声をかけあって、
安全・確実に避難しましょう。



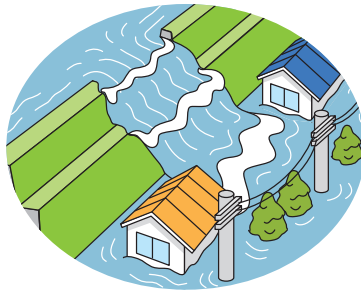
出典: 内閣府・気象庁ウェブサイトより編集

※この警戒レベル情報は2026年1月時点の情報です。内容が変更される場合には田辺市ホームページ等でお知らせいたします。

洪水・浸水害をもっと知ろう

氾濫の種類

外水氾濫
河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す現象。



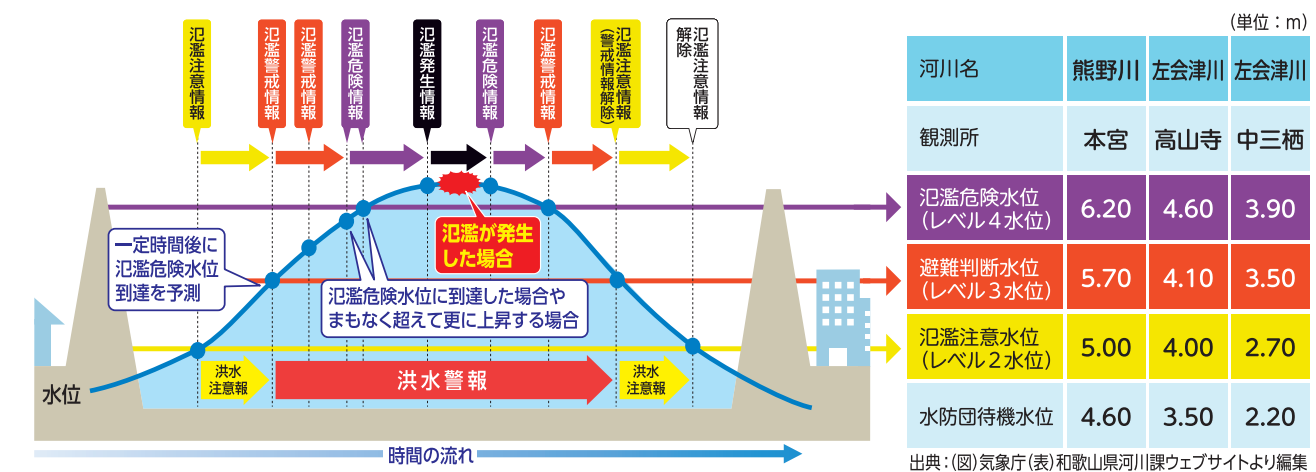
内水氾濫
下水道・支川等の雨水排水能力を上回り浸水あるいは河川水位の上昇により、下水道・支川等から河川へ放流できず浸水する現象。



出典: 国土交通省ウェブサイトより編集

河川の危険水位と洪水予報等

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、洪水予報河川の熊野川については、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。水位周知河川の左会津川については、氾濫警戒情報が発表されます。市町村は、この情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



避難行動のポイント、危険な場所

- 情報の確認**
雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。
- 防災責任者の指示に従う**
避難のときは警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。独断での行動は大変危険です。
- 動きやすい服装、集団での避難**
避難するときは、動きやすい格好で、二人以上での行動を心がけましょう。
- 避難時の歩き方**
避難中はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。避難途中で危険を感じたら、自宅の二階以上や近所のビルに避難しましょう。
浸水している場合には下水道のマンホールや側溝等への転落のおそれがあり危険ですので注意しましょう。
- 隣近所への呼びかけ**
お年寄りや子供、病気の人は早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人の避難に協力しましょう。情報伝達や避難場所をとりまわめておくとう便利です。
- 車での避難は危険**
自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別の場合を除きやめましょう。
- 橋や川の近くは危険**
川が増水している場合には、川の流が速く、橋が壊れたり流されたりして非常に危険ですので、近寄らないようにしましょう。
- 川や用水路を見に行かない**
大雨の時に、川や用水路の様子を見に行つたことで流されて被害に遭う場合があります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。

出典: 国土交通省ウェブサイトより編集